令和6年度授業改善推進プラン

- (取組内容)
- ・本年度の自己の研修課題に関連し、自己の授業を分析し課題を見いだす。
 - ・見いだされた課題に対し改善プランを立て、指導方法の工夫・改善を図る。
 - ・学期の終わりに検証を行い、来学期につなげていく。

家庭科

★教科・観点について

学力向上のための調査・期末テスト及び学期の学習状況、生徒の授業アンケートをもとに分析し記入する。 <○成果 ▲課題>

観点	1 学期			2 学期			3 学期
	学年	課題分析	具体的な改善策	学年	課題分析（授業改善・評価）	具体的な改善策	改善プランの評価・来年度にむけて
知識・技能	1年	○T.P.Oを踏まえながら、個性を生かしたコーディネートを考え、衣服のデザイン画を作成することができた。 ▲製作に必要な手縫いの仕方についての理解が乏しい。	・单元ごとに小テストを実施し、学習内容の要点や課題把握に努める。 ・ワークやeライブラリー等を活用し、知識・技能を高める。	1年			
	2年	○肉の特徴や調理上の取り扱いがわかり、肉を調理することができた。		2年			
	3年	○幼児の心身の発達を理解し、年齢に合った幼児のおもちゃ製作をすることができた。		3年			
思考・判断・表現	1年	○目的や個性を生かした服の着方を考え、構想した服装を描くことができる。 ▲被服製作の状況に応じた適切な縫い方を自身で選択することに課題が見られた。	・自身の生活を振り返り、課題を自ら考え、解決していく方法を考えさせるために、考える時間をより多く設ける。 ・グループ学習を通して、自身で考えた意見や話し合った内容について情報を共有し、対話的な深い学びが得られるような工夫を行う。	1年			
	2年	○肉の調理上の性質や特徴、食中毒予防の対策などを考え、グループ学習を通して生徒自身の意見を表現することができた。		2年			
	3年	○幼少期を振り返り、自己の成長や生活に家族や周囲の人との関わり的重要性について考えることが出来る。		3年			
主体的に学習に取り組む態度	1年	○自分の似合う色やデザインなどを探そうとしたり、グループ学習を通して他者の意見を聞いたりし、課題に取り組むことができた。	・毎時間の授業のはじめに、授業のめあてや流れについて揭示し、授業の目標や内容の把握につなげる。 ・資料を見やすく明瞭にし、ICT機器(PCと大型テレビ、実物投影機等)を活用して生徒の興味や関心を高める。	1年			
	2年	○興味のある郷土料理の由来やレシピなど主体的に調べたり、他の生徒の発表を聞いて学習を振り返る様子が見られた。		2年			
	3年	○おもちゃ製作では自分で製作の計画を立てながら作業に取り組むことができた。		3年			
研修課題（キャリア教育に関連した教科としての取組）	研修課題に対する教科としての具体的な実践方法		1 学期の成果と課題	1 学期の結果を踏まえた具体的な実践方法及び追加内容	2 学期までの成果と課題	1 年間の成果と今後の課題	
・生徒の主体性やコミュニケーション能力を育む授業	・身近な生活における課題を提示し、その課題解決に向けてどのような対策ができるかを考えさせ、実践を通して生徒の主体性を育む。		・家庭生活における課題を生徒自ら考えさせ、正しい情報の収集・選択、整理できる力を養い、プレゼンテーション力を高めていく。				